

製品名: AR- β 3 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07197

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	ADRB3
別名	ADRB3; ADRB3R; B3AR; Beta-3 adrenergic receptor; Beta-3 adrenoreceptor; Beta-3 adrenoceptor
遺伝子 ID	155.0
SwissProt ID	P13945
免疫原	抗血清はヒト ADRB3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 250-299

背景

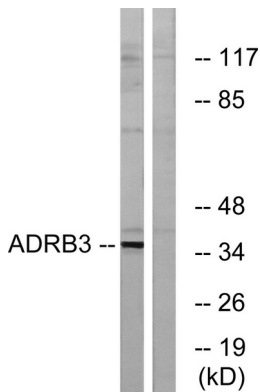
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、 β アドレナリン受容体ファミリーに属し、G タンパク質の作用を介してカテコールア

ミン誘導性アデニル酸シクラーゼ活性化を媒介する。この受容体は主に脂肪組織に局在し、脂肪分解および熱産生の調節に関与する。[RefSeq 提供、2009年2月],機能: β アドレナリン受容体は、G タンパク質の作用を介してカテコールアミン誘導性アデニル酸シクラーゼ活性化を媒介する。 $\beta 3$ は脂肪分解および熱産生の調節に関与する。、多型: 変異体 Arg-64 は体重増加 (肥満) と関連していると考えられ、またインスリン非依存性糖尿病 (NIDDM) の感受性にも関連している。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、組織特異性: 主に脂肪組織で発現する。、

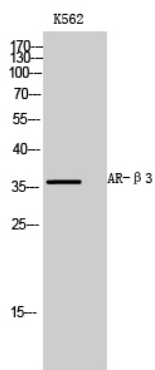
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;エンドサイトーシス;

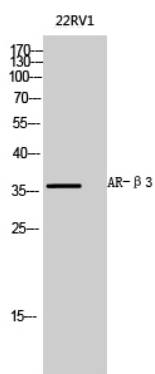
画像データ



ADRB3 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の AR- $\beta 3$ ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 希釈の AR- $\beta 3$ ポリクローナル抗体を用いた 22RV1 細胞のウェスタンブロット解析